

平成 27 年度 富水地区自治会・各団体役員 歓送迎会開催

(開催日: 平成27年5月30日(土) 場所: 富水小学校屋内運動場 約120名出席)

富水地区自治会連合(16自治会)役員及び地区で活動している、16団体役員・学校長並びに地区公職者が出席して、盛大に行われました。

第1部では、退任されました皆様へ感謝状と記念品が手渡され、来賓として加藤市長はじめ地元市議会議員の皆様よりご挨拶をいただきました。

第2部の懇親会では、各団体より紹介があり他団体と交流する良い機会となりました。

本日の歓送迎会は、富水地区が“みんながふれあうまち”になることを目指して、結束し活動することを再確認する場となりました。



市長のご挨拶と退任された皆様



懇親会の様子



小台自治会

池田自治会

もっと知りたい!

わがまち富水 ⑭

小台・池田

富水 再発見!

・位置…

富水地区の西北側に位置

・「小台」と云う名の由来…

「小台」というのは、文字通り「小高い台地」ということ。家がまだ疎らだった頃は、遠くの方から小台の土地を眺めると、付近の柳新田や清水新田、新屋の部落の土地よりも少し高くなっていることが目に見えてわかったという。

・「小台」と「池田」

以前は『小台』という一つの自治会であった。昭和52年報徳小学校が開校し、県道国府津沼田線を境として学区が異なるようになった等の諸事情により、平成3年『池田自治会』が誕生した(元小台自治会長井上勝美さん談)。池田に家が建ち始めたのは昭和35年。それまでは田んぼや畑であった。この地は古く小台の人によって開墾された土地で、昔は所有者によって字が決められたことから、本村から離れたところも小台地内小字「池田」「代官新田」であった。明治以降の地番表示においても小台○○番地であったが故に、その後の自治会も『小台』であったと思われる。鎮守は現在も共に日枝神社であり、祭礼には小台から池田へと山車が巡行する。

航空兵殉職記念碑

(小台 350 相模沼田駅東北約 650m)

その碑は小台の西南端、県道国府津沼田線から100m余り北に入った目立たぬ場所にひっそりと建っている。

昭和7年7月陸軍飛行第5連隊(東京立川)の岩橋之夫軍曹操縦機が水田に墜落。碑文にはその事故の様子と、岩橋軍曹殉職国土の死を悼む言葉が刻まれている。



日枝神社

(小台172 富水駅西北約 1,000m)

『風土記稿』によると、小台村の鎮守は寛文9年(1669)建立の八王子社と稲荷社だった。明治になって八王子社を日枝神社と改めた。大正3年2社とも飯田神社と合併したが、昭和9年現在地に分祀、現社殿が建立された。稲荷社もこの時社殿右手に祀られた。この事業に多大な貢献された綾部桑次郎翁の頌徳碑がある。

平成2年に社殿の修復と境内諸般の整備が行われた。この折に設置された由緒板を支える石柱は、その昔村の主要道路の石橋として使用されていたものという。手に触れ目を閉じれば古(いにしえ)の足音が…。



左: 稲荷石祠 堅牢地神碑 庚申塔2基



歴史的遺産

上: 深緑が瑞々しい社殿

右: 稲荷神社と頌徳碑

(参考: 『身近にある小田原の史跡』『平成2年社殿修復資料』『富水西北の歴史』『とみず子ども風土記』)